

事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	--------

事業名称	JICA草の根技術協力事業 フィジー共和国ナンディ・ラウトカ地区水道事業に関する無収水の低減化支援事業
実施期間	2014年3月～2017年7月
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>■概要・目的 漏水などによる高い無収水率が課題となっているフィジー共和国ナンディ・ラウトカ地区において、漏水探知や漏水防止工事等に関する技術移転を通じたフィジー水道技術者（主に配水管の維持管理・整備計画等に携わる技術者）の育成等により、同地区における無収水率の低減化活動を支援するもの。</p> <p>■活動内容 2017年度については本市水道局8名の職員を派遣し、本事業の総括及び事業全体を通じての助言を行った。 本事業については2017年度で終了である。引き続き同地区の給水サービス向上に向けたJICA草の根技術協力事業が採択され、2018年1月から事業を開始している。</p>
対象（相手）国・機関名	フィジー共和国・フィジー上下水道公社

写真



事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	--------

事業名称	JICA草の根技術協力事業 ナンディ・ラウトカ地区における給水サービス強化事業
実施期間	2018年1月～2021年1月
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>2017年7月に完了した草の根技術協力事業（第1期）の成果を踏まえ、ナンディ・ラウトカ地区における更なる給水サービスの強化を図るため、第2期事業として、水道利用者の節水意識の向上に向けた活動強化やフィジー上下水道公社職員の「水の有効利用（配水調整，漏水防止等）」に関する能力の強化に取り組むことで，対象地区で24時間常に水が供給されるよう支援するもの。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市職員派遣（3回/年） ・カウンターパート職員受入（1回/年） ・水道用資機材供与 <p>2017年度は第1回目の現地派遣を行い，現地における水使用の実態調査及び配水池の状況の確認を行った。</p>
対象（相手）国・機関名	フィジー共和国・フィジー上下水道公社

写真



事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	--------

事業名称	JICA個別専門家 ヤンゴン市水供給・衛生アドバイザー
実施期間	2015年8月～2017年8月
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>ヤンゴン市は、約560万人を抱えるミャンマー最大の都市であるが、今後の経済発展及び人口増加による水需要量の増加への対応や、排出負荷の増大に対応する衛生システムの整備等、重要な課題を抱えており、上下水・衛生分野の整備を戦略的に進める必要がある。</p> <p>このため、政策提言、助言を行う専門家の派遣による支援要請がミャンマー政府から我が国になされ、これを受けたJICAからの依頼に基づき本市職員をヤンゴン市に派遣、現地の給水環境改善に取り組むもの。</p> <p>■活動内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ヤンゴン市の上水道事業に係る情報収集及び関係者への共有。 2) ヤンゴン市開発委員会幹部及び給水衛生局職員と共に現状分析や課題整理。 3) ヤンゴン市開発委員会幹部及び給水衛生局職員に対し、以下の点に関する助言。 <ul style="list-style-type: none"> ・水ビジョン実現及び上水道分野にかかる開発方針・事業展開計画の推進 ・上水道事業運営 ・衛生改善 など 4) ヤンゴン市の経験を踏まえた上水道事業にかかる中央省庁や他都市への知見共有及び助言・提言。 5) 将来の日本の協力案件の発掘・実施促進のための支援。
対象（相手）国・機関名	ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市開発委員会

写真



事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	--------

事業名称	JICA課題別研修 上水道無収水量管理対策（漏水防止対策）
実施期間	2017年7月6日～8月3日
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>開発途上国においては上水道に関する技術者の不足から漏水量の割合が高い状況にあるため、JICA課題別研修員として受け入れ、本市が持つノウハウ、技術を習得することで、各国の給水環境の改善に資するとともに、活動を通じた水道局職員の人材育成、水道技術力の維持向上を図るもの。</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：福岡市の水道事業，漏水防止，配水管整備・維持管理，メータ管理など ・視察：ダム，取水場，浄水場，配水施設，配水管布設現場 など ・アクションプラン作成支援
対象（相手）国・機関名	ナイジェリア(1名)，ナミビア(2名)，モロッコ(2名)，南アフリカ共和国(2名)

写真



事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	--------

事業名称	一般財団法人自治体国際化協会 自治体職員協力交流事業
実施期間	2017年6月～11月
主催機関	一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>CLAIRの「自治体職員協力交流事業」を活用し、ヤンゴン市職員を本市に「協力交流研修員」として受け入れ、本市が持つノウハウ、技術を習得させるとともに、ヤンゴン市職員の人材育成を通じたヤンゴン市水道の運営・維持管理の改善および本市とヤンゴン市とのさらなる信頼関係の構築を図るもの。</p> <p>■活動内容</p> <p>研修において、以下のプログラムを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：福岡市の水道事業全般、下水道事業全般 など ・視察：ダム、取水場、浄水場、配水施設、配水管布設現場 など ・実習：浄水場やポンプ施設の運転・維持管理実習、水質管理実習、本市水道局研修施設における給水管接合演習 など ・アクションプラン作成支援 <p>2017年度は、ヤンゴン市の水道技術者2名を受け入れ、研修を実施した。</p>
対象（相手）国・機関名	ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市開発委員会

写真



事業体（団体）名	福岡市水道局
----------	--------

事業名称	JICA技術協カプロジェクト（ヤンゴン市開発委員会水道事業運営改善プロジェクト）
実施期間	2015年～2020年
主催機関	JICA、(株)TECI、東京水道サービス(株)、(株)PUC、福岡市水道局、東京都水道局
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>ヤンゴン市では、円借款を活用した水道施設整備が進められているが、持続的な給水サービスを確保するためには、施設整備と並行して、ヤンゴン市開発委員会の組織能力強化も必要であるため、JICAが技術協カプロジェクトを実施している。福岡市水道局は、東京都水道局とともに、国内支援委員として本プロジェクトに参画し、水道事業体として技術的な助言等を行うもの。</p> <p>■活動内容</p> <p>福岡市水道局は、東京都水道局と共同で、現地セミナーや訪日研修を実施。</p> <p>2017年度は、ミャンマー-日本合同水道セミナーの講師として職員4名をヤンゴン市に派遣した。</p>
対象（相手）国・機関名	ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市開発委員会

写真

